

## 地域 NPO における環境教育の活動事例紹介

### Our Activities of Environmental Education in Local Nonprofit Organization

江原仁

#### NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会、環境カウンセラーズぐんま

概要:NPO 法人熊谷の環境を考える連絡協議会では、会の創立以来、地球温暖化やゴミの削減、河川の生態系保全等についての行事を行い、環境教育を進めてきた。これまで専門家がない中でも、積極的に市民相手にいろいろな啓発活動を行ってきた地元密着の NPO の活動状況について報告する。

キーワード:環境教育、NPO、地球温暖化防止、緑のカーテン、省エネ

#### 1. 熊環連とは

NPO 法人熊谷の環境を考える連絡協議会(以下、熊環連と略す)は、1992年(平成4年)NPOとして発足し、熊谷市内の個人、環境関係団体、事業者、行政教育機関等と連携し、熊谷市を中心として健全な地球環境や河川環境の保全に尽くすことを目的に環境活動をおこなってきた。現在の会員数は約40名である。また、団体会員として市内の8環境団体が参加している。

#### 2. 活動状況

##### 2.1 熊谷市地球温暖化防止活動推進センター

地域地球温暖化防止活動推進センター(以下、温暖化防止センターと略す)は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき全国の都道府県知事や政令指定都市などの市長によって指定されている。市で温暖化センターを設置しているのは、全国で12市だけである。



写真1 市内公民館での出前講座

熊谷市は、日本の最高気温41.1℃を記録したところであるが、市民の地球温暖化防止に対する関心は十分とは言えない。そこで、以下に挙げるような活動を行ってきた。

- ① エコライフディ(省エネのチェックシート)
- ② 出前講座(テーマ:地球温暖化、エコドライブ、緑のカーテン)
- ③ 市のエコライフフェアや産業祭等への参加、ゴーヤの苗の配布

##### 2.2 荒川の水質調査とゴミ拾い

埼玉県の中央を流れる荒川の中流部に位置する熊谷市において、約20年間市内の水質調査及び荒川周辺のゴミ拾いを実施してきた。

水質調査は、NPO 法人荒川流域ネットワーク主催で毎年6月に実施される「荒川流域一斉水質調査」に参加し、市民の手で川の健全性を調べ、身近な川の水質への関心を高めている。

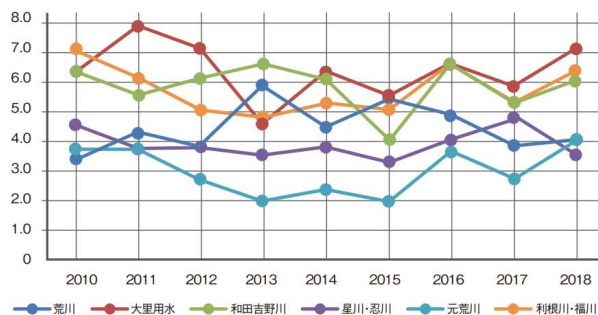


図1 荒川水質調査における水質 COD 調査結果

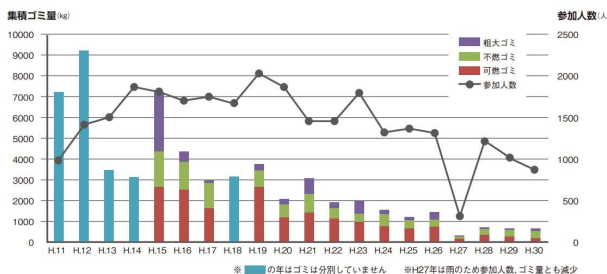


図2 荒川清掃におけるゴミ回収量

また、ごみ拾いは、NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムの基で「荒川の恵みと熊谷を考える集い」として、毎年 11 月の日曜日に実施している。集合場所を市内荒川河川敷 6 ヶ所に設置し、参加者に軍手やゴミ袋等を渡し、荒川周辺のごみ拾いを行ってもらっている。

ごみの種類と数を確認することが、参加者一人ひとりに気づきをもたらす。調査結果を活かして、今後はごみの発生をおさえ、ごみのない社会を目指していく契機となればよいと考えている。

### 2.3 河川での生物観察

熊谷市教育委員会のウィークエンドサイエンスの一環として、市内の和田吉野川で生き物調べ（水生生物および植物）を毎年行っている。毎回市内の小学生 20～30 名が参加している。



写真2 和田吉野川における生物観察状況

### 2.4 緑のカーテンの温度低減効果調査

緑のカーテンによる気温の低減効果を調査する調査を 8 年前から開始し、毎年 5～7 地点で各 1 週間程度の調査を実施してきた。これまで合計約 50 か所の市民の住宅、公民館、保育園等で実施したことになる。

この結果、図 3 に示すように緑のカーテンによる気温の低減効果が証明された。

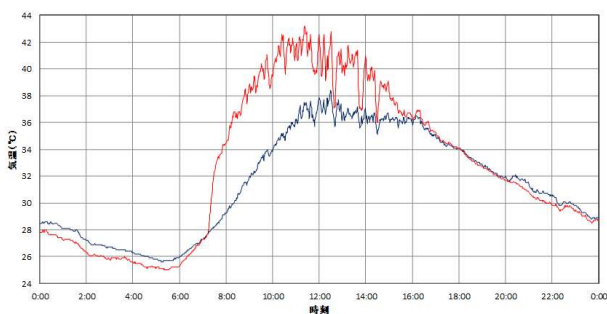


図3 緑のカーテンの有無による気温の違い  
(上：緑のカーテン無、下：緑のカーテン有)

### 2.5 ダンボールコンポストの普及

熊谷市は県内でも 1 人当たりのゴミ排出量が多い所である。生ごみを減らし、できたコンポストを肥料として活用できるダンボールコンポストの普及に努めている。

現在は、農園を借り、ごみを肥料として、野菜を育てる活動も始めたところである。



写真3 ダンボールコンポスト

### 2.6 FMクマガヤによる広報

2020 年 11 月より、熊谷の地元放送局である FMクマガヤで月 1 回番組を企画して、環境の話をはじめた。これまで、会員が地球温暖化、荒川のごみ拾い、ダンボールコンポスト、マイクロプラスチック等の話をしてきた。

### 2.7 省エネ・節電相談会の開催

市民の省エネを進めるため、年数回市役所や市内の道の駅等で、省エネ・節電相談会を行ってきた。市が購入したエコドライブシミュレーターによるエコドライブの体験も行っている。

### 3. 今後の活動と課題

新型コロナウイルス感染症対策により、人と対面する活動ができなくなった。この事態に際し、動画を作成しユーチューブ等で見れるようにする動画配信を始めたところである。

なお、本年 4 月より温暖化防止センターの運営は他の団体に交代することとなったが、ダンボールコンポストを活用する農園の立上げ、最近問題になっているマイクロプラスチックの調査等を実施する予定である。

課題としては、会員の高齢化による活動の停滞や専門家の不足等がある。

以上